



濤沸湖は、ガン・カモ類やシギ・チドリ類が訪れる、北海道でも有数の水鳥の渡来地で、タンチョウやオジロワシなどの希少な生きものの繁殖地にもなっています。また、湖岸や後背の湿生草原では、ヒオウギアヤメやアッケシソウなどの美しい野草が観察できます。このような豊かな自然環境を背景として、濤沸湖はラムサール条約湿地に登録されています。

「保全と利用のためのルール」作成の経緯

濤沸湖は、道東地域における観光ポテンシャルの高い地域で、国内外からの旅行者の増加も見込まれています。

今後、自然の営みを無視した利用が多くなると、自然環境は劣化し、濤沸湖の魅力は低下してしまいます。さらに、漁業や農業、地域の方々とも調整が図れなくなる可能性があります。

こうした事情を背景として、様々な分野の方がワークショップや検討会を通して意見を交換し、知恵を出し合い、『濤沸湖 保全と利用のためのルール』をまとめました。

濤沸湖エコツーリズム推進協議会

濤沸湖エコツーリズム推進協議会は、地域住民、水産業や農業、観光業などの各種産業に従事している方、地域の生きものに精通した専門家などで構成され、網走市及び小清水町が事務局となって運営するものです。

『濤沸湖 保全と利用のためのルール』の管理運営をするとともに、濤沸湖のエコツーリズムを広く普及していくための継続的な取り組みを推進していきます。また、地域の方々や利用者等の意見を取り込みつつ、定期的にルールの見直しをはかります。

濤沸湖水鳥・湿地センター

濤沸湖水鳥・湿地センターは、ラムサール条約の理念に基づき、濤沸湖の環境学習や保全活動の拠点となる施設として、平成24年に開館しました。濤沸湖の素晴らしさを伝えるために、自然や文化、歴史などの様々な情報を日々発信しています。当センターは、「濤沸湖 保全と利用のためのルール」の問い合わせ等の窓口となります。

ホームページ
<http://www.city.abashiri.hokkaido.jp/>



【お問い合わせ】 濤沸湖水鳥・湿地センター



〒099-3112 北海道網走市字北浜203番地3地先
TEL/FAX: 0152-46-2400
開館時間: 9時~17時
休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

作成: 釧路自然環境事務所



濤沸湖エコツーリズム推進協議会